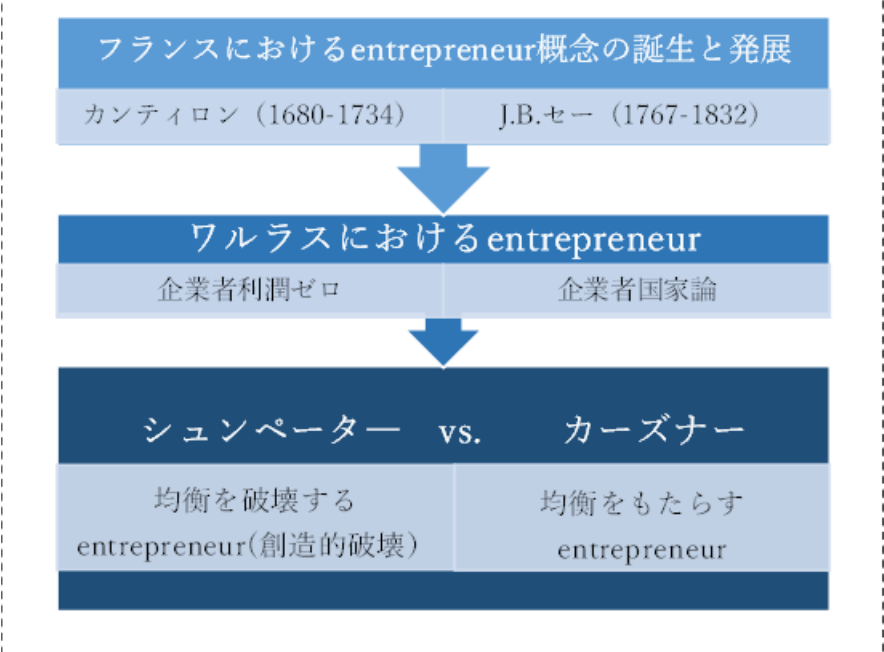


経済・経営	【代表的な研究テーマ】 □ ワルラスからシュンペーター、カーズナーへ ：経済学史からみたアントレプレナーシップ論
key word	課題解決に役立つシーズの説明
■ 企業者 ■ ワルラス ■ シュンペーター ■ カーズナー ■ イノベーション ■ アントレプレナーシップ ■ 創造的破壊	■ 企業者 entrepreneur の概念は、どのような思想的・歴史的背景をもって誕生したのか？ 私の専門分野である経済学史の観点から、その成立過程や論争、発展の歴史を考察することにより、現代のアントレプレナーシップが直面する問題に、新たな解決のヒントを示すことができると考えています。 ■ 私は、現代経済学の基礎を築いたフランスの経済学者 レオン・ワルラス(1834-1910) の経済学の解明に長年とりくんできました。スイスを拠点とする「国際ワルラス学会」(AIW)の会長もつとめています。現代のイノベーション論、アントレプレナーシップ論の元祖とされるシュンペーター(1883-1950)が最も大きな影響を受けた経済学者は、ワルラスです。実は、企業者 entrepreneur は、フランスで誕生した概念であり、ワルラスが登場する以前のフランスには、J.B. セーやカンティロンなど、独特の企業者論を展開した経済学者たちがいました。シュンペーターはこれらの経済学者たちからも影響を受けています。また現代の経営学で注目されるシュンペーターとカーズナー(1930-)の対比についても、歴史的・思想的背景に注目することによって、新たな意義を見出すことができます ■ 研究内容は以下の著作をご覧ください。
	・(単著) 御崎 加代子 著『アントレプレナーシップの経済思想』(岩波書店)2026 年 ・(招待論文) 御崎 加代子 「ワルラスからシュンペーターへ—アントレプレナーシップの歴史的・思想的背景—」『組織科学』第 56 巻 2 号(2022 年 12 月) pp.4-14.
御崎 加代子 Kayoko Misaki	
経済学部 教授	
【プロフィール】 ●専門分野: 経済学史 研究テーマ: ワルラスの経済思想・フランス経済学史・アントレプレナーシップ ●略歴 ・経済学修士(一橋大学) ・経済学博士(京都大学) 一橋大学経済学部助手、山形大学人文学部助教授、滋賀大学経済学部助教授などを経て、2003 年より滋賀大学経済学部教授(現在に至る) ●所属学会 ・経済学史学会(日本) ・国際ワルラス学会(AIW) ・European Society for the History of Economic Thought (ESHET) ●最新の研究業績・研究活動は、 https://kayokomisaki.com/ をご覧ください。	 <pre> graph TD A["フランスにおける entrepreneur 概念の誕生と発展"] --> B["ワルラスにおける entrepreneur"] B --> C["シュンペーター vs. カーズナー"] A --> A1["カンティロン (1680-1734)"] A --> A2["J.B.セー (1767-1832)"] B --> B1["企業者利潤ゼロ"] B --> B2["企業者国家論"] C --> C1["均衡を破壊する entrepreneur(創造的破壊)"] C --> C2["均衡をもたらす entrepreneur"] </pre>
	企業・自治体へのメッセージ アントレプレナーシップ、イノベーション概念の歴史に関する講演等、担当可能です。 (例) (招待講演)「シュンペーターとイノベーション: その歴史的・思想的背景」日本ベンチャー学会(JASVE)第 24 回全国大会(2021 年 12 月 5 日 大阪経済大学)